

統計月報

統計月報 令和 3年 2月
 公益財団法人 城北労働・福祉センター
 〒111-0021 東京都台東区日本堤2-2-11
 TEL 03(3874)8089 FAX 03(3871)2460
<http://homepage33.la.coocan.jp/>

～職業紹介事業の実績(1月)～

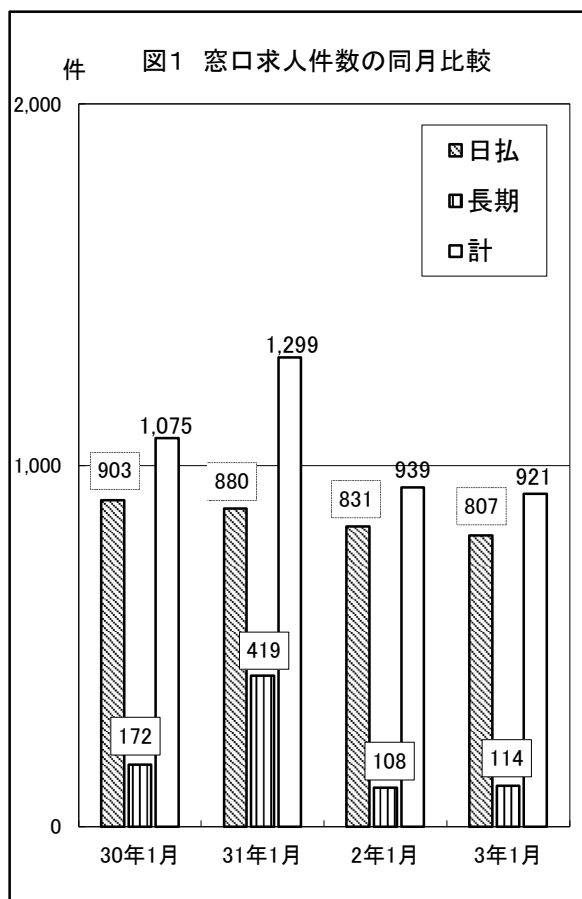
(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりとなった。

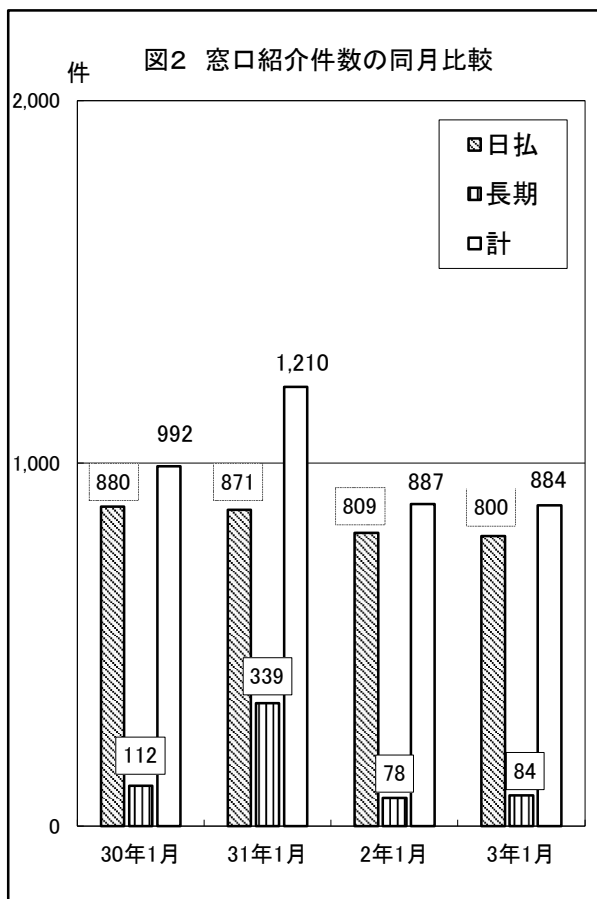
令和3年1月の窓口求人件数は921件（前年同月939件）、18件の減少（△1.9%）であった。

窓口紹介件数は884件（前年同月887件）、3件の減少（△0.3%）であった。

窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比で9件の減少（△1.1%）、長期は6件の増加（7.7%）であった。



窓口求人	30年1月	31年1月	2年1月	3年1月	前年比	増減率(%)
日払	903	880	831	807	△24	△2.9
長期	172	419	108	114	6	5.6
計	1,075	1,299	939	921	△18	△1.9



窓口紹介	30年1月	31年1月	2年1月	3年1月	前年比	増減率(%)
日払	880	871	809	800	△9	△1.1
長期	112	339	78	84	6	7.7
計	992	1,210	887	884	△3	△0.3

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数（人数×日数）である。

(2) 紹介区分別

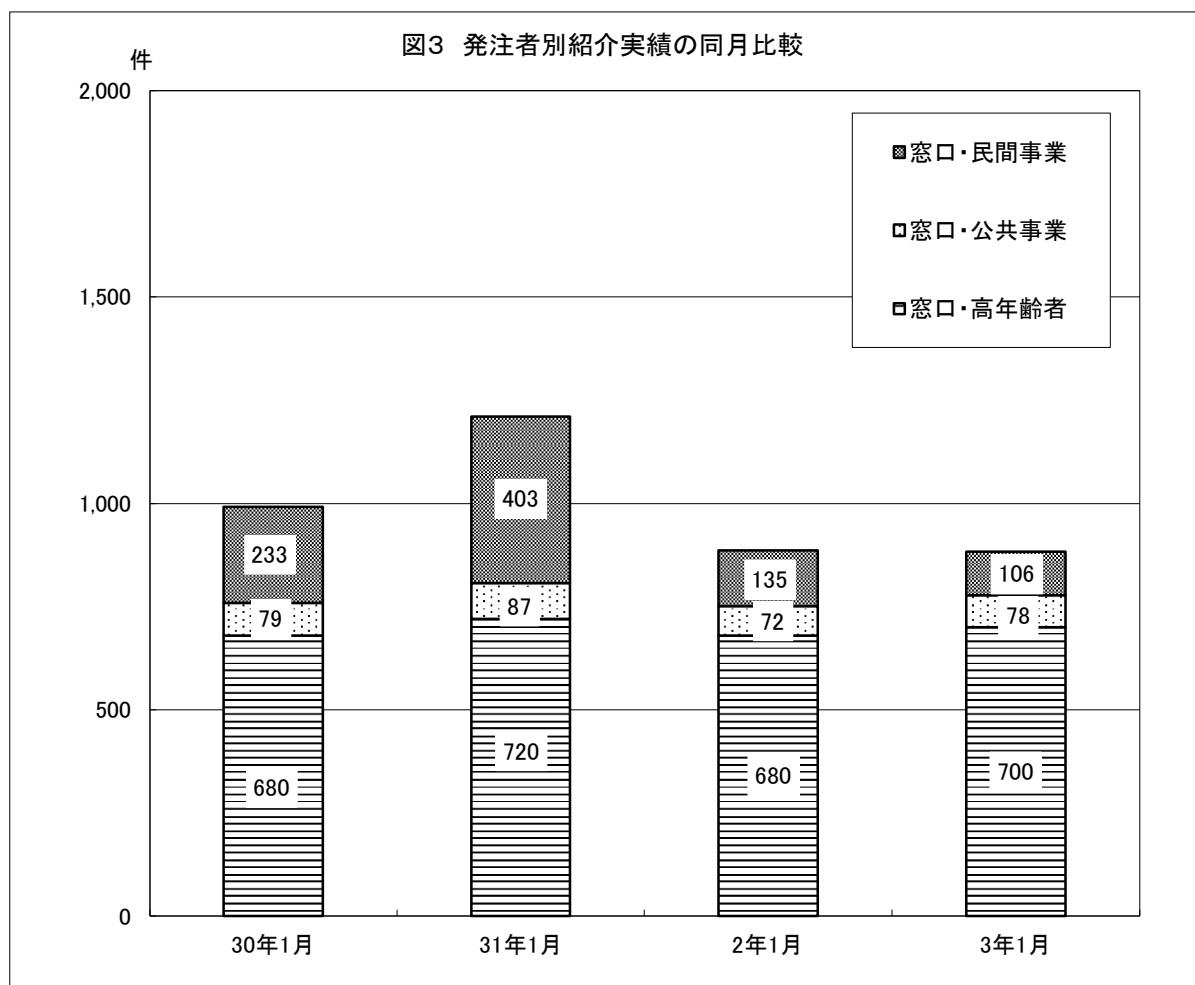
センター窓口からの紹介実績は、紹介区分別（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

- ① 民間事業
- ② 公共事業（特別就労事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③ 東京都の「高齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ① 「民間事業」は29件の減少（前年同月比△21.5%、日払は33件の減少、長期は4件の増加）
- ② 「公共事業」は6件の増加（前年同月比8.3%）
- ③ 「高齢者特別就労」は20件の増加（前年同月比2.9%）

窓口計では3件の減少（前年同月比△0.3%）となった。



	30年1月	31年1月	2年1月	3年1月	前年比	増減率(%)
窓口・民間事業	233	403	135	106	△29	△21.5
窓口・公共事業	79	87	72	78	6	8.3
窓口・高齢者	680	720	680	700	20	2.9
窓口計	992	1,210	887	884	△3	△0.3

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、『何人』に仕事を紹介したかという観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり令和3年1月の紹介実員数(=窓口計)は803人であった。(前年同月812人)

民間事業では、日払の紹介実員数は50人(前年同月83人)と長期は2人(前年同月2人)であった。

また、窓口紹介実績の一日平均は、2.7人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		2年1月	3年1月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	85	52	△33	△38.8
	公共事業	47	51	4	8.5
	高齢者特別就労	680	700	20	2.9
紹介実員数(窓口計)		812	803	△9	△1.1

～生活相談・応急援護事業の実績(1月)～

(1) 受付総数・相談件数(一日当たり受付数・相談数)

図5のとおり令和3年1月の相談受付件数(=相談数(計))は271件で、2年1月に比べ2件の減少(△0.1件/1日平均)となり、前年同月比マイナスとなった。

新規来所件数は27件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

		月総数				一日平均		
		2年1月	3年1月	増減数	増減率(%)	2年1月	3年1月	増減数
受付		269	267	△2	△0.7	14.2	14.1	△0.1
新規		35	27	△8	△22.9	1.8	1.4	△0.4
	医療相談	4	1	△3	△75.0	0.2	0.1	△0.1
	福祉法(生保等)	1	4	3	300.0	0.1	0.2	0.1
	労働相談	4	13	9	225.0	0.2	0.7	0.5
	応急援護	73	89	16	21.9	3.8	4.7	0.9
	その他相談	191	164	△27	△14.1	10.1	8.6	△1.5
相談数(計)		273	271	△2	△0.7	14.4	14.3	△0.1

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

* 開所日数は、令和3年1月、令和2年1月とも19日間であった。

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比12件の増加(34.3%)、給食相談は1件の減少(△4.2%)、物品相談は7件の増加(58.3%)、交通費相談は2件の減少(△100.0%)となった。

なお、1月の開所日数は、29年度から本年度まで19日間の同日数であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

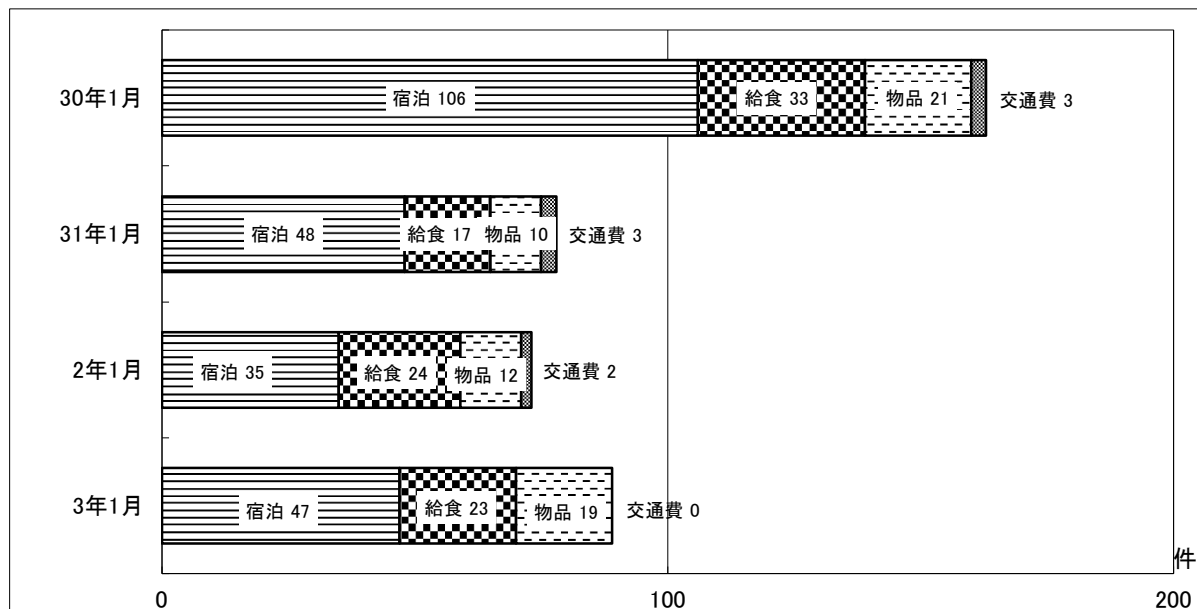


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

